

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.136

2012年10月9日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

合唱を創り上げる喜びを

音楽教育部会授業研究会 開催

研究所音楽教育部会が、佐用町の中学校において音楽の授業を参観しました。

授業は、全校生による混声三部合唱「ここにいる幸せ」。音程が安定し、響きのある声で歌える3年生をリーダーとして、パート練習にとりくみました。また、「言語活動の充実」という観点から、授業者が作成した「指導マニュアル」をもとに、3年生が1・2年生に具体的な声かけをする場面が随所に見られました。縦割り班での活動が定着している小規模校ならではの雰囲気や授業者を含めたやわらかい人間関係が、美しいハーモニーを創り上げていました。



授業の終わりに、上田益さん作詞・作曲の「大切なふるさと」が披露されました。これは、上田さんご本人から、2009年の台風9号による甚大な被害を受けた佐用町へ贈られた曲だそうです。心に響くすばらしい合唱に、参観者からの拍手が体育館いっぱいに広がりました。



研究協議では、各校の合唱指導の現状や小学校と中学校のめざすもの等について話し合われました。また、リズム打ちや階名唱の重要性や授業時数の減少という課題も出されました。そのなかで、「歌詞を見て歌うのではなく、譜面を見て歌えることが大切」「きいて歌える」だけでは、本当の自立にはつながらない」「歌った後に、子どもたちが何に感動できたのか」という協力研究所員の助言が印象に残りました。

